

護衛艦「かが」建造関連会社50社へ感謝状を贈呈



感謝状贈呈式の様子

2017年3月28日、南関東防衛局（局長 堀地 徹）は護衛艦「かが」建造に関して特に功績があったJMU協力会（50社）に対し、感謝状を贈呈しました。

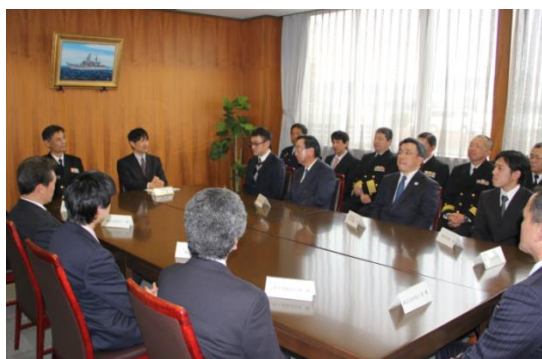
諸外国における同型艦の実績では就役までに約7年～10年を費やしていることに対し、護衛艦「かが」は通常の護衛艦と同じ5年という、非常に短い工期で就役を迎えることができました。これは建造造船所だけでなく、JMU協力会の各会社が持つ卓越した技術力と関係者各々の艦艇建造に対する熱意の賜物であるということで、感謝状が贈呈されました。

被表彰会社は以下のとおりです。

葵工業(株)、(有)石渡船舶、(株)うえみや、(有)大森興業、(有)相模興業、佐藤技工(株)、(株)佐藤船舶工業、三洋装備(株)、(株)セイワ、大一船舶(株)、大幸造船(株)、大正産業(株)、大丸工業(株)、太陽プランテック(株)、大洋マリンサービス(株)、千代田テクノシップ(株)、長崎船舶装備(株)、(株)ニッパク、(有)寺本工業、(株)真下工業所、丸喜興業(株)、三上船舶工業(株)、(株)ミヤデラ断熱、(有)山電、渡辺工業(株)、(株)川田工業、三波工業(株)、ニッパク装備(株)、(株)北斗、佐賀工業(有)、前多工業(有)、加藤電設(株)、大飛工業(株)、システムジャパン(株)、(株)シップジャパン、ニチアス(株)、(株)日本冷熱、関東洗機工業(株)、(株)シンコー、(株)ネオテック、(株)北信化工、(株)須田鋼索、(株)ケーエムシー横浜、(株)U-nex浦川、(有)星斗工業、海洋電子工業(株)、川岸工業(株)、(有)角能海事建設、セイワ情報システム(有)、共栄エンジニアリング(株) 以上50社



感謝状贈呈の様子



懇談の様子

当日は天気も良く、和やかな雰囲気の中、被表彰会社の各代表の方々はやや堅い面持で堀地南関東防衛局長から感謝状を受け取られていましたが、しげしげと感謝状に目を落とすさまはとても誇らしげな様子でした。

この日は感謝状贈呈の後、写真撮影、そして堀地局長を含めた南関東防衛局関係者との懇談も行われ、建造中の苦労話のほか、今後の建造にむけた活発な意見交換も行われました。

堀地局長は「これからイージス艦の建造が続きますが、最善の装備品を自衛隊部隊に提供できるよう、今後も力を結集して存分に発揮していただきたい。その中で南関東防衛局は官民の橋渡し役となっていきたい。」と語り、被表彰会社の方々はイージス艦建造に向けて決意を新たにしている様子でした。

護衛艦「かが」



護衛艦「かが」は平成24年9月にジャパンマリンユナイテッド(株)（三島 慎次郎 代表取締役社長）が受注、横浜事業所磯子工場（加藤 隆 取締役執行役員 艦船事業本部長兼横浜事業所長）において建造され、平成29年3月に就役しました。基準排水量19,500トン、全長248m、最大幅38m、艦内の総パイプ長約110km（東京～熱海）、艦内の総電線長約1,050km（東京～小倉）という超大型護衛艦です。